

バンドーの記憶を世界の記憶へ

ユネスコ「世界の記憶」遺産登録推進 特別講演会

二葉百合子さんの「岸壁の母」で広く知られるようになった舞鶴港は、敗戦後 13 年間に渡って引揚者 66 万人を暖かく迎え入れた町です。昭和 63 年に開館した「舞鶴引揚記念館」の記憶遺産は平成 27 年全国で 5 番目に「世界の記憶」に登録（現在日本では 7 件）されました。

そこで今回先進地の舞鶴より山下美晴館長をお招きし、決して忘れてはならない敗戦後に起こった無数の悲劇について学びたいと思います。また舞鶴の市民が「世界記憶登録」を目指してどのような取り組みをされたのか、そしてその後のことについてお聞きし、今後の私たちの活動に活かして行きたいと考えております。一人でも多くの市民の皆さんがご参加下さいますようご案内申し上げます。

演題
ユネスコ「世界記憶遺産」とまちの力
舞鶴引揚記念館 山下美晴館長



日時：2018年11月3日(土)
13:30 ~

場所：鳴門市ドイツ館
入館料 無料

主催：U.「世界の記憶」遺産登録推進市民協議会
阿波のまほろば実行委員会（事務局 689-1227）
WeLove ならとまちづくり活動応援事業

プロフィール

平成 24 年、直営になった舞鶴引揚記念館の初代館長に就任し現在に至る。当記念館の資料を世界の記憶にしよう運動を起こし平成 27 年 10 月に実現。資料の全国巡回展等を実施。今年に記念館開館 30 周年を迎え、新しい施設も整備し 4 月にグランドオープンした。